

第5学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

1 主題 人とつながり 輝く命～自分たちにできること～

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

○一人ひとりのかけがえのない命や人権を守る大切さを理解させる。

○自ら進んで互いに支え合い、行動しようとする態度を養う。

○友だちの考えをしっかり聞き、自分の考え方や思いを伝え合う話し合いの力を高める。

4 指導計画（別紙）

5 本時の学習

（1）目標

避難所生活において、一人ひとりの人権を守る大切さを理解し、自分たちにできることは何かを考え、様々な立場の人のことを思いやり支え合おうとする意欲を育てる。

（2）個別人権課題名 災害時における人権問題

（3）展開

学習活動と予想される子どもの意識の流れ	指導上の留意点
1 これまでの学習を振り返る。 ・渋野の地域の人々は、避難所に対してどんな不安を感じているのか分かったね。 ・避難所としての渋野小学校の備えについて調べて分かったね。	○ 本時の学習の意欲付けと方向付けをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">避難所で人々が安心して過ごせるために、自分たちにできることは何かだろう。</div>
2 自分たちにできることをグループで話し合う。 ・体が不自由な人がいたら、歩くときに支えたり、必要な物を取りに行きたい。 ・保育所で教えてくれたように、小さな子どもは体力が少ないので、先に毛布や食べ物を渡したい。	○ 一人ひとりの人権を守るために自分たちにできることをグループで話し合う。 (イ) (ウ) ・具体的な場面を想定した、話し合い活動が進むように学習ファイルの振り返りやワークシートの活用について助言する。
3 話し合った内容を発表し共有する。	○ 自分の考え方と比べたり、よいところを見つけてできるように促す。 (ウ)
4 本時の学習を振り返る。 ・自分の考えを発表する。	○ 学習を振り返り、様々な人のことを思いやり、支え合おうとする意欲を高める。 (ア) (イ)

（4）評価

・避難所生活において、一人ひとりの人権を守ることの大切さを理解することができたか。

【知識的側面】 (ア)

・避難所生活で人々が安心して過ごせるために、自分たちにできることは何かを考え、思いやり支え合っていこうとする意欲をもつことができたか。 【価値的・態度的側面】 (イ)

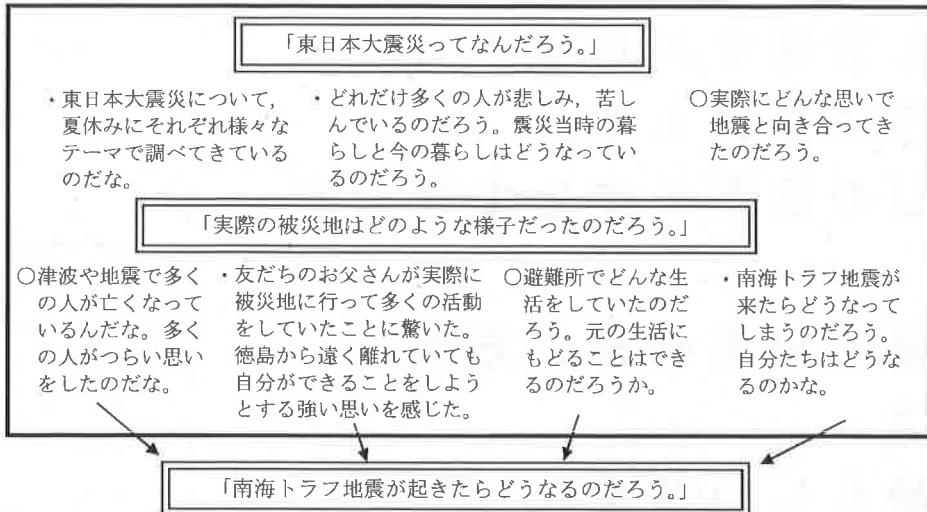
・友だちの考えを聞き、自分の思いや考えを出して話し合うことができたか。

【技能的側面】 (ウ)

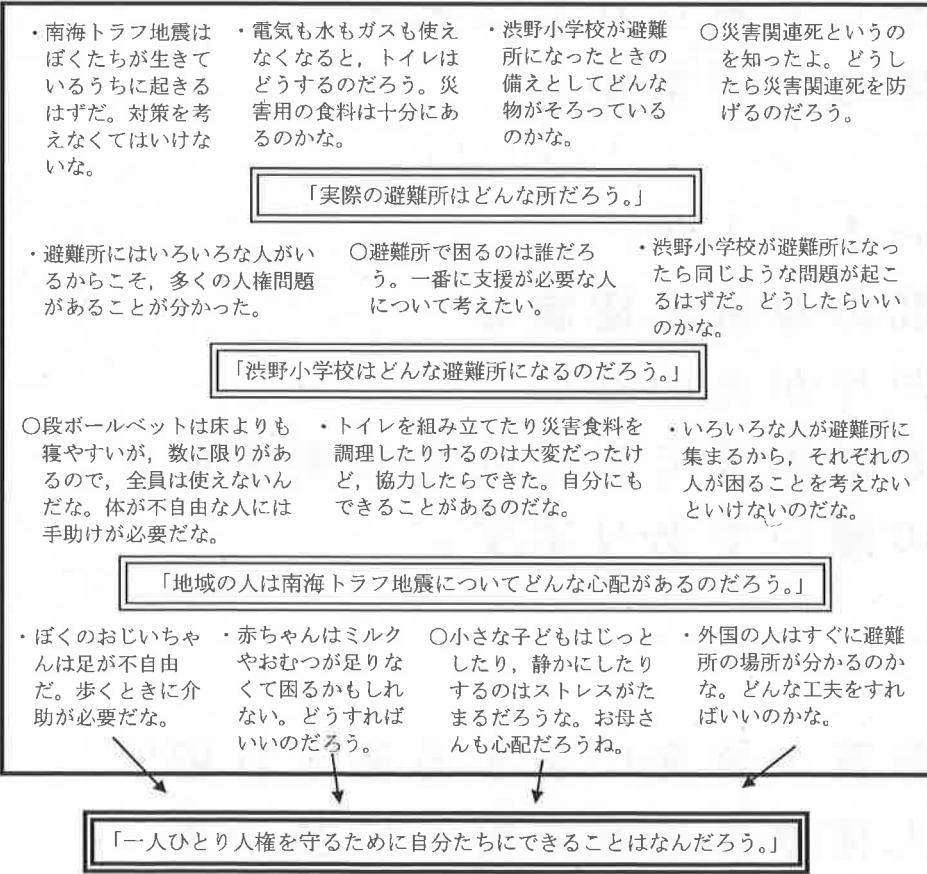
4 子どもの意識の流れと学習構成「人とつながり 輝く命」(32時間)

【主題に関する人権学習（総合的な学習の時間）】

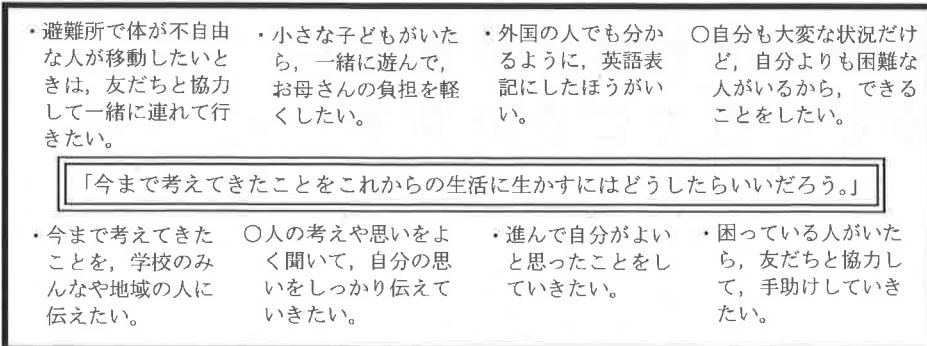
《東日本大震災について調べよう（8時間）》



《南海トラフ地震について考えよう（13時間）》



《自分たちにできることを考えよう（4時間）本時1／4》



【主題に関わる教科等・行事】

【その思いを受けついで（2時間）】

- ・「死」について考えさせられた。
 - ・人は亡くなつても、その人との思い出はなくならないのだと思った。
 - ・自分と同じように生活をしていた小学生が津波の犠牲になってしまったことが悲しかった。
 - ・家族の大切さを改めて感じた。
- 道徳「その思いを受けついで」
道徳「ひまわりのおか」

【自助・公助・共助を考える（5時間）】

- ・儀兵衛がしたこととその業績について読み取ろう。
 - ・自助と共助の意識は、今総合で学んでいることにつながっているな。
 - ・今の生活で人のためにできることはどんなことだろう。
- 国語科「百年後のふるさとを守る」

※○は位置づけた子の予想される意識の流れ

第5学年 相手の立場を尊重し、支え合って共に生きる(8月変更版)